

**第5回菅生・大塚戸地区意見交換会**

**「新たな地域コミュニティ」の  
実現に向けて**

**令和6年12月7日**

# 目次

## 01 第4回意見交換会の振り返り

## 02 意見交換会を継続する理由

## 03 市が推進する「地域コミュニティ協議会」とは —事例紹介— 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会

## 04 菅生・大塚戸地区で「地域コミュニティ協議会」設立に向けて 動き出してみませんか？

## 05 ワークショップ

# 今日の話し合いのルール

ROPES

R	お互いを尊敬し、尊重すること
O	心を開いて
P	話したくないときは「パス」といっていい
E	共感と興味をもって/ワクワクしながら
S	みんなが安心してお話しできるように/自分の気持ちに素直に/思ったことを伝える/ユーモアをもって

# 01\_\_第4回意見交換会の振り返り

## 誘い方のコツ

1. お互いを知り合い、つながりをつくる
2. 緊急性・背景を伝える
3. 活動に参加してもらえるかをはっきりと聞く
4. 参加を約束してくれたら、仕事と責任をお願いする

実践できましたか？



参考：COJテキスト

## 02\_\_意見交換会を継続する理由

### ① 地域の現状

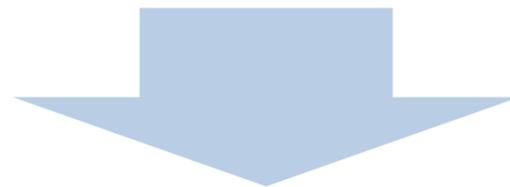
近隣市等への転出超過と人口減少  
超高齢社会（高齢化率↑・出生率↓）に移行  
単身・核家族世帯の増加

### ② 地域の課題

地域活動の担い手不足  
役員の負担増  
コミュニティの希薄化  
ライフスタイルや価値観、地域課題の多様化

### ③ 地域の今後への不安

10年後、20年後私たちのまちはどうなっていくのか？  
大規模災害が起こったら助け合える体制はできてるのか？  
お祭りなどの伝統文化を継承していけるのか？  
子供や高齢者の見守りは誰がやってくれるのか？

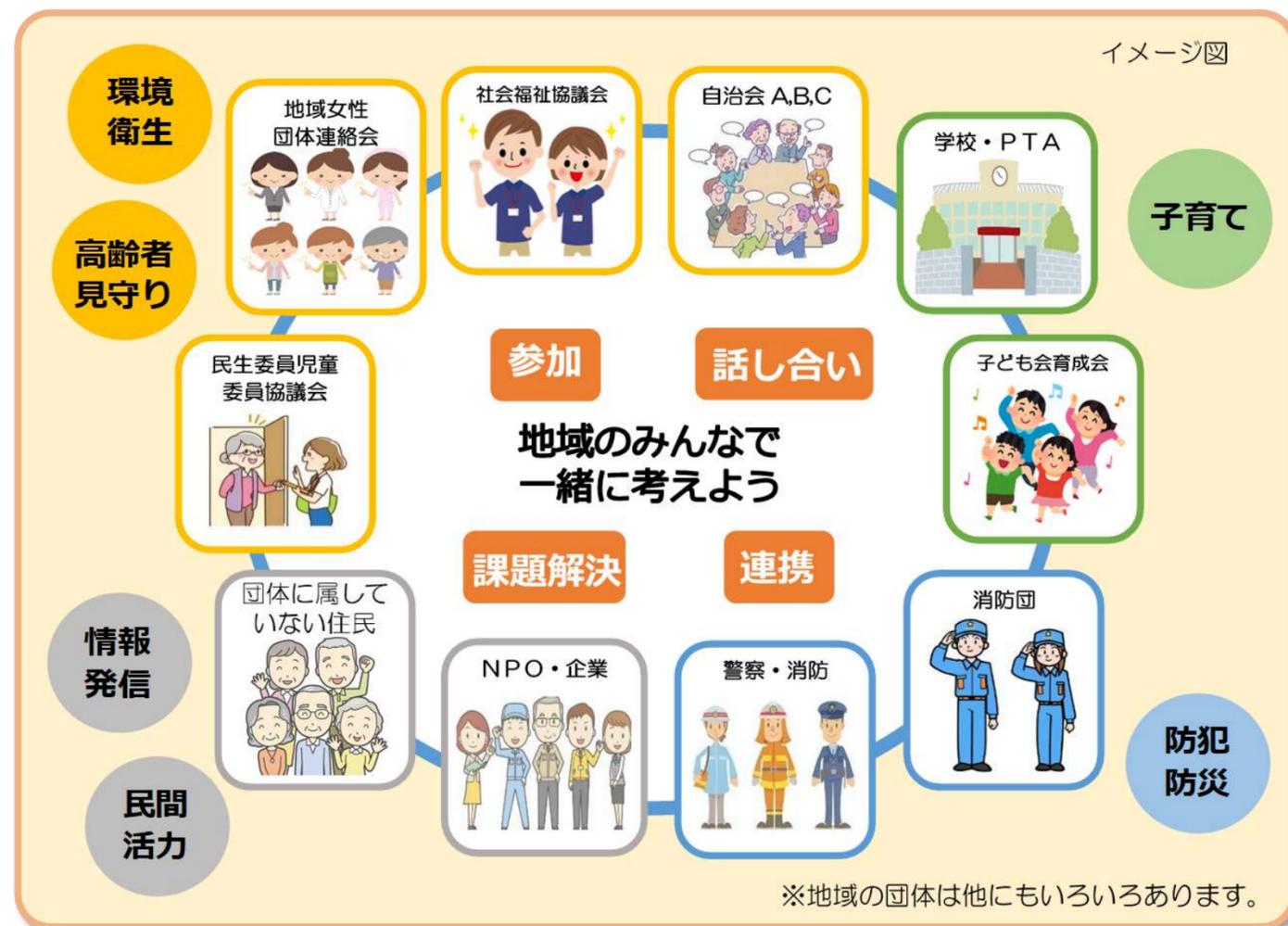


**様々な不安を解消し、誰もが将来にわたって安心安全で住みよいまちにするため、  
子供から高齢者まで世代を超えた方が集まって対話をする場を設けるために意見交換会を継続**

# 03\_\_市が推進する「地域コミュニティ協議会」とは

多様化、広域化する課題に継続的に対応するため、地域内で個別に活躍している個人や団体同士が横につながることによって「連携」し、地域にとって必要なことを「話し合い」、各種団体だけでは対応できない地域の「課題解決」に向けて取り組む一体的な活動を推進する仕組みです。

- 負担軽減
- 活動の効率化
- 活動の継続



# 地域コミュニティ協議会の基本的な取り組み

- ・ 地域課題、住民の困りごとを情報共有し、解決に向けてできることから実行
- ・ 地域資源を再確認し、活用について話し合う
- ・ 多様な住民の参加を促す
- ・ 地域内外への情報発信を行う など

例

## 第1回意見交換会 どんなまちに住みたい？

地域が連携して活動できるまち

災害に強いまち

子供が遊べる場所があるまち

## 第2回意見交換会 地域でできること

世代交流イベントの開催  
まつり・全地区の交流の場

防災スポーツと運動会の融合

- ・ 新しい遊具の設置
- ・ 昔のような寺子屋を  
地区センターで実施
- ・ 耕作放棄地を子供の遊べる  
土地として再利用

## 第3回意見交換会 連携できる団体

自治会＋子供会＋青少年育成市民会議  
子供神輿会＋子供会

PTA＋防災組織＋学校

# 地域コミュニティ協議会設立のメリット

- ・地域の課題が情報共有できます
- ・地域の未来を話し合う機会をつくることができます
- ・地域の困りごとを自分たちで解決できます
- ・新たな人材の発掘に繋がり、担い手不足が解消できます
- ・組織がつながることで、役員の負担軽減に繋がります

# 市の支援

市も3つの視点で参加します



ひと

- ・ 地域と行政の橋渡し・調整
- ・ 協議会設立準備から設立・運営への参加

拠点

- ・ 活動拠点の検討
- ・ 公共施設等の活用の検討

資金

- ・ 組織運営、事業実施に対する補助金の検討

# <事例紹介> 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会

令和7年4月協議会設立を目標に活動しています

地域の  
機運づくり  
・人材発掘

## 第1回～第3回意見交換会を実施



令和4年から地域の課題の洗い出しや課題解決に向けた意見交換を行ってきました。

地域コミュニティ協議会の  
立ち上げ準備  
1

## 準備委員会設立に向けて地域内で協議（検討会）

準備委員会の規約、事業計画、予算の検討  
協議会設立に向けた準備委員会設立



令和5年12月から発起人6名で6回集まって打合せを重ねました。

地域コミュニティ協議会の  
立ち上げ準備  
2

## 地域コミュニティ協議会設立に向けて準備委員会で協議（準備委員会）

規約・事業計画・予算、試行的な運営・活動の検討

令和6年7月発起人から声を掛け、賛同した41名で準備委員会を設立しました。

今、ここです！

地域コミュニティ協議会の  
設立・活動

## 地域コミュニティ協議会を立ち上げて活動を開始

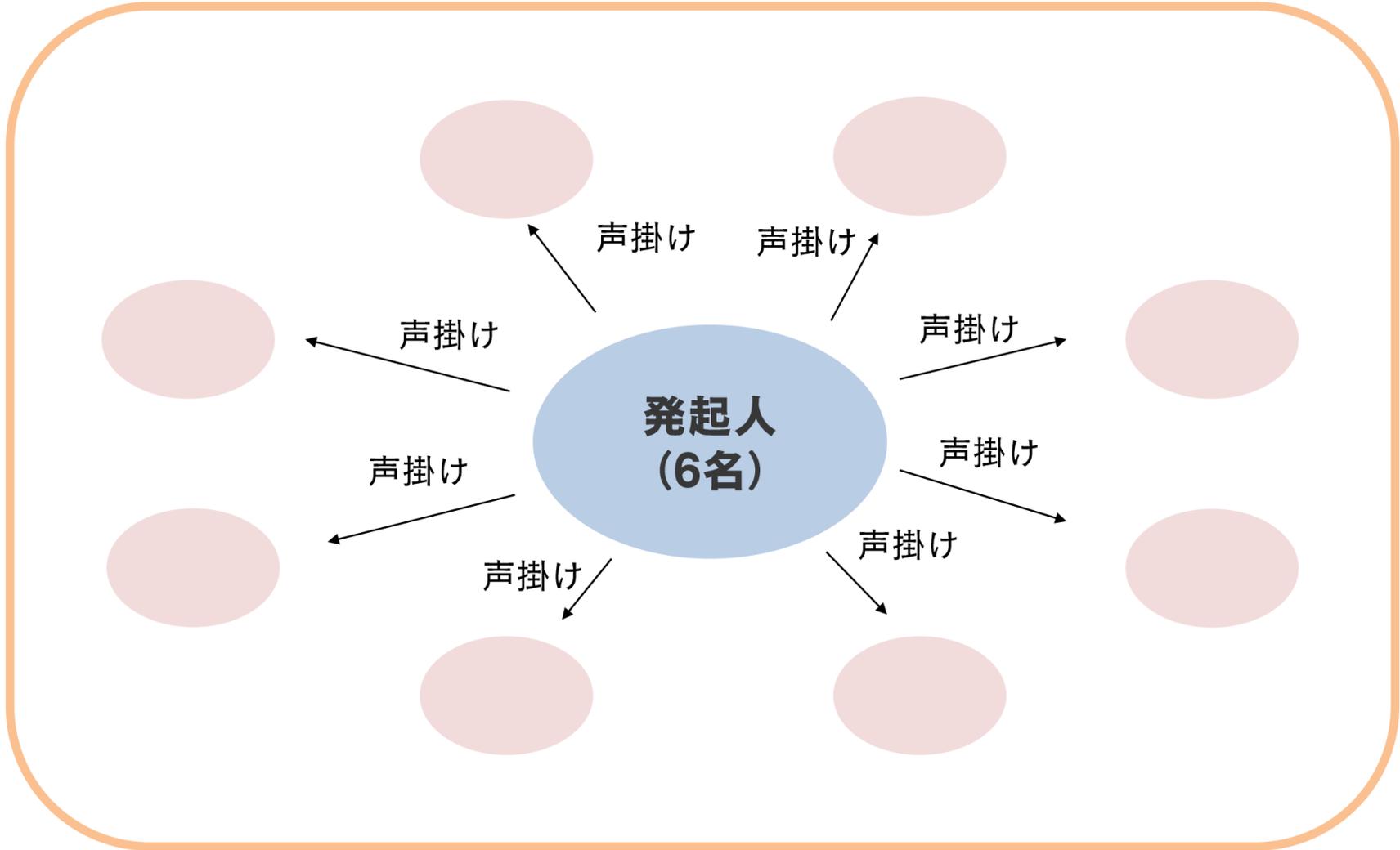
地域コミュニティ協議会設立総会  
地域の課題解決のための話し合い・活動の実施



協議会設立に向けた検討及び準備委員会の試行的な活動として、令和7年3月「桜まつりin豊田」開催に向けて話し合いを重ねています。

# (1) メンバーの集め方

地域コミュニティ協議会の  
立ち上げ準備  
1



準備委員会メンバー (41名)

## (2) 準備委員会設立に向けた協議の詳細 (令和5年12月～令和6年7月)

地域コミュニティ協議会の立ち上げ準備 1

日にち	参加者	打合せ内容	人数
令和5年12月19日 ～令和6年4月11日	発起人	<b>第1回～第6回発起人打合せ</b> 第1回：地域コミュニティ協議会設立に向けての説明 第2回：メンバーへの声掛け方法について 第3回：上郷市街地活性化協議会との意見交換会 第4回：準備委員会メンバーの洗い出し、声掛け 第5回：準備委員会メンバーへの声掛け報告、今後のスケジュールについて 第6回：意見交換会の事前打合せ	6名
令和6年4月21日	発起人から声掛けしたメンバー	<b>第1回検討会</b> 発起人から地域コミュニティ協議会設立の必要性を説明し、協議会設立の賛同を得る	37名
令和6年5月24日	発起人	<b>第7回打合せ</b> 組織の名称や準備委員の検討	6名
令和6年6月8日	発起人から声掛けしたメンバー	<b>第2回検討会</b> 組織の名称決定、準備委員の選出、今後のスケジュールについて	30名
令和6年6月22日	発起人	<b>第8回打合せ</b> 準備委員会設立総会の内容検討	3名
令和6年7月28日	発起人から声掛けしたメンバー	<b>準備委員会設立総会</b> 準備委員会規約、役員、事業計画、予算等の承認	31名

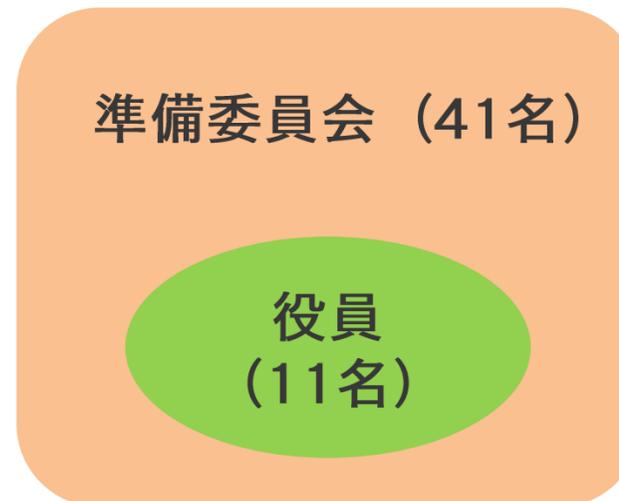
### (3) 準備委員会における協議会設立に向けた協議（令和6年8月～）

日にち	参加者	打合せ内容	人数
令和6年8月5日 ～9月29日	役員	<b>第1回～第5回役員会</b> 第1回：今後のスケジュール 試行的な活動（桜まつりin豊田）について 第2回：さくらまつりの現地確認、内容について 第3回：さくらまつりの内容、補助金申請について 第4回：さくらまつりの内容、補助金申請について 第5回：さくらまつりの内容、補助金申請について	11名
令和6年10月6日	準備委員会	<b>第1回準備委員会</b> （さくらまつりの事業内容について承認）	
令和6年11月13日	役員	<b>元気のみなもと補助金審査会</b>	



地域コミュニティ協議会の立ち上げ準備 2

<メンバー構成>



# 04\_\_ 菅生・大塚戸地区で「地域コミュニティ協議会」設立に向けて動き出してみませんか？

## 菅生・大塚戸地区の現状

地域の  
機運づくり  
・人材発掘

第1回～第5回意見交換会を実施



今、ここです！

地域コミュニティ  
協議会の  
立ち上げ準備  
1

準備委員会設立に向けて地域内で協議（検討会）

準備委員会の規約、事業計画、予算の検討  
協議会設立に向けた準備委員会設立

地域コミュニティ  
協議会の  
立ち上げ準備  
2

地域コミュニティ協議会設立に向けて準備委員会で協議

規約・事業計画・予算、試行的な運営・活動の検討

地域コミュニティ  
協議会の  
設立・活動

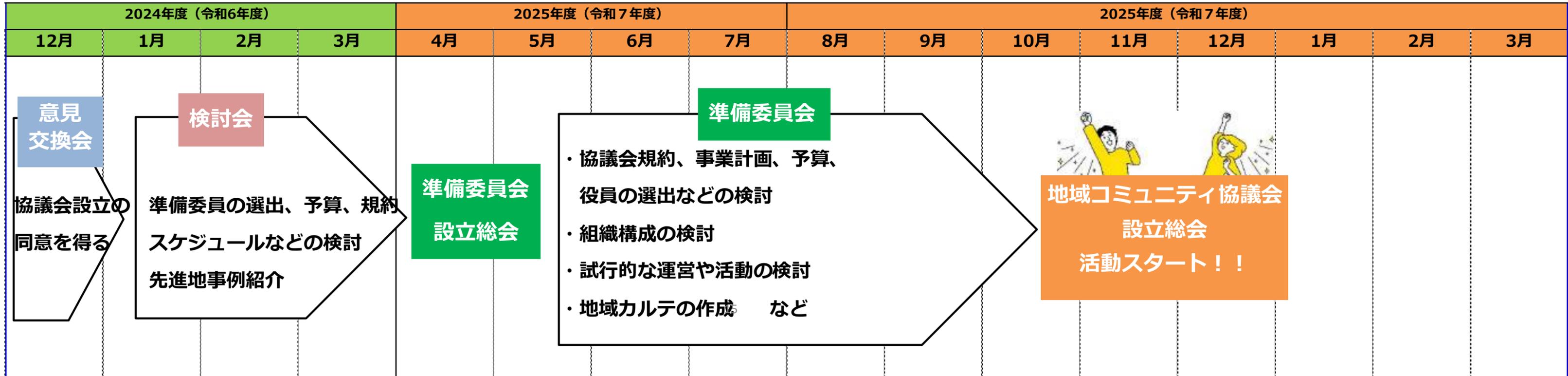
地域コミュニティ協議会を立ち上げて活動を開始

地域コミュニティ協議会設立総会  
地域の課題解決のための話し合い・活動の実施



「地域の課題」  
「こんなまちに  
したい」という  
地域の将来への  
想いを情報共有  
しました。

# 菅生・大塚戸地区 地域コミュニティ協議会設立に向けたスケジュール（案）



## 05\_\_ワークショップ

**地域コミュニティ協議会で活動したい取組み  
(=地域ビジョン) を考えてみましょう！**



# 陽東地区 まちづくりビジョン



私たちが暮らす陽東地区をさらに明るく住みやすいまちにしていけるため、陽東地区まちづくり協議会では3年間で全16回のビジョン策定委員会を開催して地域の課題やその対応策について討論を重ね、ここに「陽東地区まちづくりビジョン」として取りまとめました。

陽東地区まちづくり協議会  
陽東地区地域ビジョン策定委員会

令和2年(2020年)3月

住んでよかった ずっと住みたい このまち 陽東

地域の目指す姿

4. 生活環境の改善 **テーマ**  
**課題**

- 1) LRTによる車・人の動きの変化とそれに伴う騒音・排気
- 2) 平出工業団地からの臭いや粉じん対応
- 3) ごみ出しマナーの改善



ごみ出しマナーPR (リサイクル推進委員会)

- 対応 (まちづくり協議会)**
- ◇騒音や排気等の問題が生じた場合にはWeb (ウェブ) 等で投書を受け付け、必要に応じ、市と協議の場を設け適切な対応を要請していく。
  - ◇平出工業団地からの臭気等については、住民からの情報を市へ伝達し、適切な対応を要請する。必要に応じ、工場の見学や排ガスデータ等の提供依頼等を行っていく。
- 対応 (リサイクル推進委員会)**
- ◇ごみの分別に関する研修会やチラシの配布等により引き続き住民の啓発活動を実施する。
  - ◇新たに「美化評議会」を設置し、ごみステーションの美化100%を目標に活動する。

対応策  
(協議会で活動する取組み)

5. 防災

- 課題**
- 1) 避難訓練の実効性改善、参加者の拡充
  - 2) 避難所の明示、避難ルートの路上表示
  - 3) 避難情報の周知迅速化、自治会会員以外への呼びかけ
  - 4) 冠水しやすい場所への水深ゲージの設置



災害時避難訓練 (防災部会)

- 対応 (自主防災会)**
- ◇2019年の台風19号災害の経験を踏まえ、新たに「陽東地区防災計画」を策定し、避難訓練の充実改善や避難所の明示等を進めていく。
  - ◇避難情報発令時の連絡網の整備を図るとともに、「防災ラジオ」の普及促進に努める。
  - ◇水深ゲージの新たな設置が必要な場所を調査確認し、市と協議していく。

6. 防犯

- 課題**
- 1) パトロールの充実強化 (パトランの実施)
  - 2) 防犯カメラ・防犯灯の設置促進
  - 3) 子どもの逃げ場としてのコンビニ活用
  - 4) 特殊詐欺の防止



子ども110番看板 地区内夜回り巡回 (防災部会)

- 対応 (防犯ネットワーク)**
- ◇パトラン (ジョギング兼パトロール) 用の夜光タスキを作成し、ボランティア2名が実施中。さらに普及拡充を図っていく。
  - ◇各自治会において、市の助成により必要な防犯カメラ・防犯灯の設置促進を図っていく。
  - ◇陽東小PTAと連携し、コンビニなどの協力を得ながら「子ども110番」看板設置個所の増設を図っていく。
  - ◇特殊詐欺防止のため、高齢者等へPRを推進する。

例

テーマ

対応策（協議会で活動する取組み）

- ・ **防犯防災** : ★防災スポーツと運動会の融合、登下校見守り活動 等
- ・ **保健福祉** : ★地域タクシーの運営、ゴミ出し支援、介護予防教室 等
- ・ **環境衛生** : ★廃品回収を実施、★草刈りの実施 等
- ・ **生涯学習** : ★世代交流イベントの実施、★子供たちへの農業体験の場の提供 等
- ・ **多文化共生** : 多国籍料理教室、交流イベント 等  
(※多文化共生…異なる国籍の方がお互いの文化的な違いを尊重し、対等な関係を築きながら地域社会の一員として共に生きていくこと。)
- ・ **情報発信** : SNSを利用した情報発信 等

**「さくらまつりin豊田」は、桜のライトアップと一緒に、以下の活動を実施予定！**

- ・ 防犯防災：ハザードマップや非常食の配付・ランタン作り
- ・ 保健福祉：高齢者の送迎
- ・ 環境衛生：会場の除草、ゴミ拾い

# 菅生・大塚戸地区の目指す姿は？

例

ずっと住みたい このまち 菅生・大塚戸

住民がともに支え合い、明るく活力のあるまち 菅生・大塚戸

## 1. 「この地域で暮らすあなたにとって地域で起きているどのようなことに関心がありますか？」

### 【菅生・大塚戸地区】

1	道路や通学路の危険箇所、通学路の見守りが必要
2	お店が少ない
3	子供が遊べる場所がない
4	ゴミの出し方について
5	地域のつながりについて
6	獣害
7	公共交通について
8	子供が少ない
9	子供たちが元気に挨拶してくれる
10	菅生沼に白鳥が来ている

### 【全体】

1	地区内のコミュニケーションが取れていない
2	道路の危険箇所、道路の除草
3	ゴミ問題（ゴミの捨て方、産業廃棄物の捨て方等）
4	子供が少ない
5	役員の担い手不足
6	空き家問題（空き家の増加、防犯、火災）
7	買い物問題（お店が遠い等）
8	高齢者の増加、一人暮らしの高齢者の増加
9	公共交通（移動問題、コミュニティバス）
10	祭りやイベントがない、参加者少ない



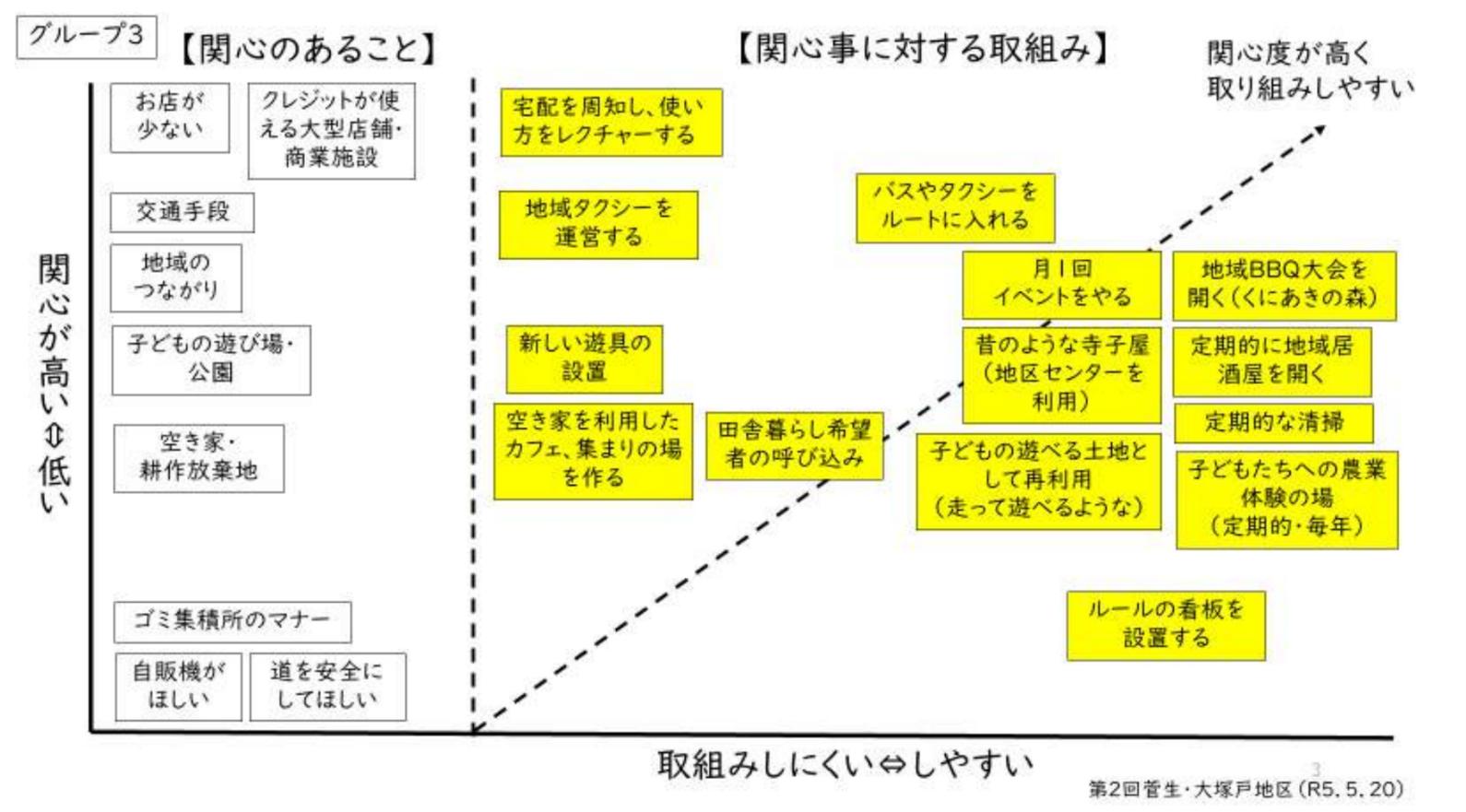
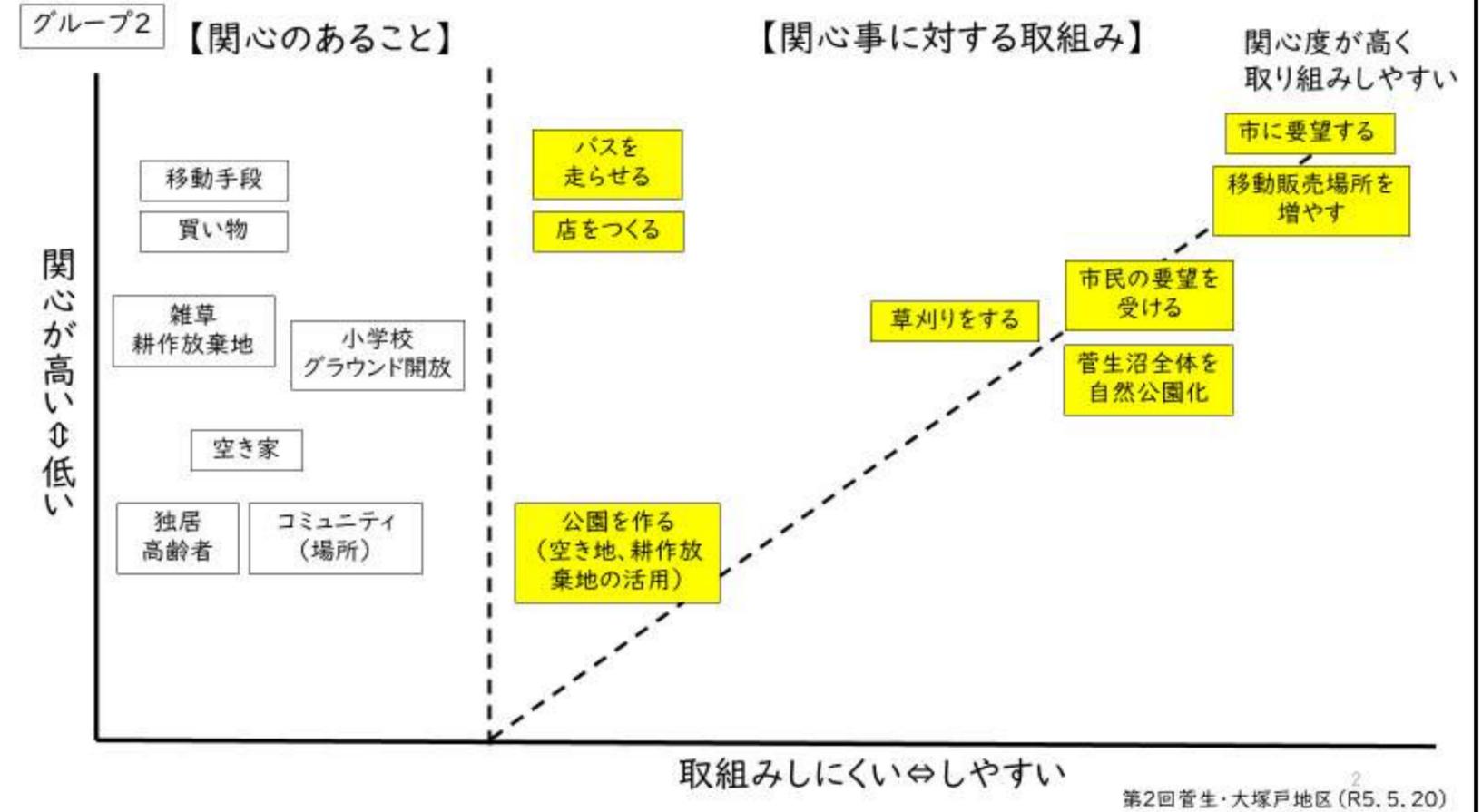
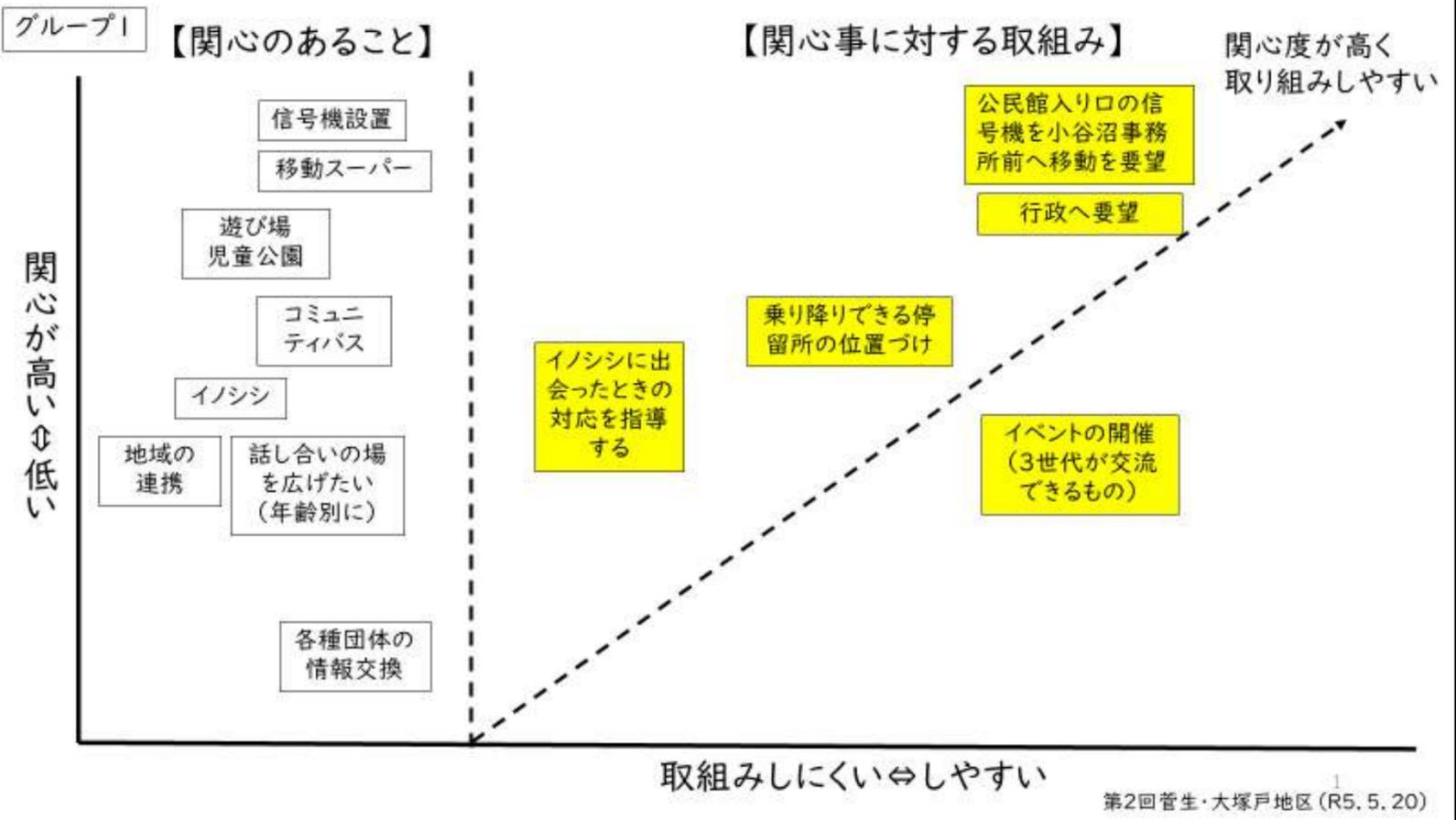
## 2. 「あなたが暮らしたいまちはどんなまちですか？」

### 【菅生・大塚戸地区】

1	公共交通が充実しているまち
2	買い物が便利なまち
3	子供が一人で歩ける安全なまち
4	子供が遊べる場所があるまち
5	地域が連携して活動できるまち
6	道路がきれいなまち
7	害獣がでないまち
8	災害に強いまち

### 【全体】

1	地域内でコミュニケーションが取れるまち、つながりがあるまち
2	公共交通があるまち、交通の便がいいまち
3	買い物が便利なまち
4	子供たちが安心して過ごせるまち、子供の元気な声が聞こえるまち
5	医療・福祉が充実したまち、バリアフリーなまち
6	災害時に助け合えるまち、災害に強いまち
7	自然環境が豊かできれいなまち
8	老後も安心して暮らせる高齢者が元気なまち
9	安心して楽しく子育てができるまち
10	お祭りやイベントが楽しめるまち



菅生・大塚戸地区  
第2回意見交換会  
令和5年2月26日

## 菅生・大塚戸地区で活動する組織・団体

- 自治会
- 青少年育成市民会議
- 子ども会
- PTA
- 青少年相談員
- 民生委員・児童委員
- 社会福祉協議会支部
- 生活支援コーディネーター
- 介護予防推進員
- シルバークラブ
- 自主防災組織
- 消防団
- 交通安全協会
- 防犯協会
- NPO法人



グループ1

団体の現状・抱える課題

<各種団体共通?>  
・メンバーの減少  
・高齢化  
・活動資金不足

<子供会>  
会員の減少

<管生地区>  
通学路の防犯  
子供が少ない地区  
がある

団体が連携して  
取り組んでいること

<青少年育成市民会議  
+子供会+PTA>  
親子デイキャンプ

消防団の出動人数を増員  
するために、経験者に  
応援団員になってもらう  
(管生1名、大塚戸1名)

今後、団体が連携して  
取り組めそうなこと

自治体レベルと地区レベル  
の自主防災組織を統合

防犯協会と  
交通安全協会との連携

各団体における現状課題  
等の情報交換をすることで、  
団体での課題解消の  
参考とする

第3回管生・大塚戸地区 (R5.8.20)

グループ2

団体の現状・抱える課題

災害時の緊急避難所  
管生地区4か所は少ない  
では?

廃品回収実施が困難  
・子どもの減少  
・軽トラの確保が困難

<消防団>  
なり手がいない

<地域女性団体連絡会>  
加入率の低下

<交通安全母の会>  
高齢の為、立哨が出来なく  
なっている

団体が連携して  
取り組んでいること

自治会が協力して廃  
品回収の実施(古谷  
地区)

<自治会+青年会+氏子+子供会>  
子供相撲大会

今後、団体が連携して  
取り組めそうなこと

困っていること、問題解決  
協力依頼等のコーディネート  
をする部署があるとよい  
すぐやる課、なんでもやる  
課を作してほしい

第3回管生・大塚戸地区 (R5.8.20)

グループ3

団体の現状・抱える課題

<子供会>  
・少子化による会員減少  
・役員をやる回数が多い  
・イベントをやっていない

<子供神輿会>  
・少子化による担ぎ手不足  
・役員の担い手不足

<らっこ会>  
活動停止中

<PTA>  
少子化による  
会員数の減少

<芸能保存会>  
・担い手不足  
・高齢化

<自治会>  
・加入率低下  
・若い人が少ない

団体が連携して  
取り組んでいること

<子供会+青少年育成市民  
会議+自治会?+消防団>  
どんど焼き

<自治会+青年会+氏子+子供会>  
子供相撲大会

今後、団体が連携して  
取り組めそうなこと

<子供神輿会(大塚戸)+らっこ会(管生)>  
担ぎ手不足の解消、  
活性化、賑わいの向上

<子供神輿会+芸能保存会>  
担ぎ手不足の解消、活性化、  
賑わいの向上

<子供神輿会+子供会>  
お祭り、全地区の交流の場

<子供会+自治会>  
資源回収の協力

<PTA+防災組織+学校>  
防災スポーツと運動会の融合

<自治会+子供会>  
世代交流イベント(お祭り、居酒屋)

第3回管生・大塚戸地区 (R5.8.20)

グループ4

団体の現状・抱える課題

<自治会>  
関係の希薄化

<自治会長会>  
経験(者)期間の短期化

<子供神輿会(大塚戸町)>  
子どもの減少

<各種団体(PTA、青少年育成市  
民会議、子供会など)>  
役員の不足

団体が連携して  
取り組んでいること

今後、団体が連携して  
取り組めそうなこと

<自主防災組織+消防団>

<子供会+青少年育成市民会議>  
イベント協働事業

<大塚戸子供神輿会+日枝神社総代>

第3回管生・大塚戸地区 (R5.8.20)

グループ1

どんな人に意見交換会に参加してもらいたいですか？

- ・自治区長、会長
- ・各種団体の役員
- ・地域女性団体連絡会
- ・菅生遊水みどりの会
- ・菅生沼を考える会
- ・民生委員の方
- ・地域警察官
- ・病院関係者
- ・市役所各担当課職員
- ・高齢者介護事業所
- ・介護支援専門員  
(ケアマネージャー)
- ・子育て中の若い方
- ・20代～50代の就業者
- ・学校関係の方
- ・高齢者の介護をしている家族
- ・独居高齢者
- ・清水 国明さん  
(くにあきの森)

その人に意見交換会に参加してもらうにはどうすればいいでしょうか？

- ・地域で運動会を開催し、参加者に呼びかける
- ・若者に理解を求める
- ・個別に周知する
- ・学校関係者からの理解を得る
- ・車の相乗りの協力を求める
- ・住宅地開発、若人定着

あなたは誰に声かけをしますか？

- ・区長から民生委員へ
- ・区長から他区長へ

グループ2

どんな人に意見交換会に参加してもらいたいですか？

- ・自治区長
- ・地域団体の各代表者
- ・シルバークラブ
- ・子育て世代
- ・シニア世代
- ・毎日散歩している方
- ・企業の代表者
- ・小学生
- ・中学生
- ・高校生
- ・菅生小の全校生徒
- ・友達
- ・地域のことをあまり考えていない方
- ・地域の各団体等に所属していない方

その人に意見交換会に参加してもらうにはどうすればいいでしょうか？

- ・地区ごとに人数を振り分けて声をかける
- ・小さい地区ごとに開催する
- ・こまめに開催する
- ・授業参観日に開催する
- ・お土産を用意する
- ・飲食可のイベントを併せて行う
- ・元々実施しているイベントを合同で開催する
- ・託児環境を作って参加しやすくする
- ・有名人を呼ぶ

あなたは誰に声かけをしますか？

- ・学校長、PTA
- ・各団体の集会時に代表の方から細かくアナウンスしてもらう
- ・手分けして個別に声かけをする



菅生・大塚戸地区  
第4回意見交換会  
令和6年4月13日